



# 清水けんいち 市政レポート

政策討議資料  
第28号  
2014年10月

### 【ご挨拶】

皆様の、日頃からのご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。市議会議員として、日々、市民生活向上のため、深谷市発展のため精進しております。日頃の議員活動や市政状況を、市民皆様に御報告し開かれた政治を実現して参ります。これからも、御意見や御要望を聞かせていただき「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷の実現に向け、活動して参りますので、変らぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

### 【議会報告】

深谷市議会 平成26年度 第3回定例会9月議会が終了しました。

### 主な議案

- ・平成25年度一般会計歳入歳出決算認定（認定）

- ・男女共同参画推進条例（可決）
- ・子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例（可決）
- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（可決）
- ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（可決）
- ・平成26年度一般会計補正予算（第4号）（可決）

（他、市長提出議案21件・議員提出議案3件）

### 《ここに注目パート1》“骨髄移植ドナー助成金！”

補正予算で、白血病等の治療に有効な骨髄移植に関してドナーとなる方に助成金が支給されるようになりました。支給額は1日2万円です。

## 9月22日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



### 「治に居て、乱を忘れず」

平穏なときにも、万一に備えることを怠ってはならない。  
易经にある教えです。  
肝に銘じて精進してまいります。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問に入ります。

### 質問1 市有施設のコスト状況を活かすべきと考えるか？

今回は、市民サービスの水準を維持しつつ、経費である出を抑え、収入を増やしていくという観点から質問します。3月に各議員に配られました「公共施設白書」にある、各施設のコスト状況を見させていただき、市内小中学校29校の児童生徒1人当たりの水道料金に大きな差があり、疑問を感じましたので、独自に調査した結果（別表1）について質問します。平成23年度の全小学校19校の児童数は8,296名で水道料金は29,219,324円、平成25年度の児童数は8,097名で水道料金は31,709,058円、2年間で児童数が199名減少し、水道料金は児童数減少に比例せず、逆に2,489,734円も上がっています。こうしたコスト状況を分析し活かしていくことで経費が削減され、例えば教育費に回すことも出来ると思えますが考えを聞かせて下さい。

**答弁** 何らかの原因があって、そうした状況になっているとは思いますが、詳しい状況については担当課と調査して参ります。

**再質問** 全小学校の中から児童数500名以上で給食場を併設している8校（別表2）で見ますと、上柴東小が児童1人当たりの水道料金が2,998円と一番安く、一番高いのが幡羅小の6,420円となって倍以上の差があります。この8校だけでも上柴東小の水準になれば約500万円が削減されますが、逆に幡羅小の水準になれば約1,200万円高くなります。今まで、こうした状況を把握できなかった訳ですから、現状の組織体系で公共施設のマネジメントを行うのは無理があると思えますがいかがですか。

**再答弁** どういった視点で見れば良いか含め、今後検討して参ります。

**【提言】** 私は、児童や生徒に深谷の猛暑の中、飲み水を我慢なさいとか、花や樹木に水をあげる量を減らして下さいと言っているのではありません。こうした事を意識していくことが、子どもたちにとっても、最も身近な環境学習にもなりますし、担当課任

せにするのではなく、市全体の施設コストを比較することで新たな視点が生まれてくると考えますので、是非、早急に対処するよう提言いたします。

		H23生徒数	H23水道料	H24生徒数	H24水道料	H25生徒数	H25水道料
小 学 校	1 深谷小学校	580	1,670,790	582	1,808,111	591	1,807,043
	2 深谷西小学校	660	1,989,082	637	2,104,559	599	2,369,440
	3 桜ヶ丘小学校	682	2,692,557	666	2,885,148	617	3,547,782
	4 藤沢小学校	608	1,761,606	608	1,763,685	633	2,034,711
	5 上柴東小学校	570	1,733,445	544	1,755,747	555	1,663,893
	6 上柴西小学校	762	2,219,808	699	2,277,515	674	2,330,115
	7 幡羅小学校	560	3,677,969	564	3,477,936	564	3,621,090
	8 常盤小学校	636	2,103,981	629	2,137,143	602	1,892,921
	9 明戸小学校	203	999,138	218	1,211,082	216	1,037,899
	10 大寄小学校	174	1,152,459	175	1,097,271	180	1,225,602
	11 八基小学校	188	1,018,458	189	1,053,045	186	906,928
	12 豊里小学校	229	1,253,007	225	1,529,136	219	1,667,106
	13 岡部小学校	316	639,351	328	677,089	332	743,460
	14 榛沢小学校	179	500,872	163	431,009	176	676,588
	15 本郷小学校	268	500,554	268	472,278	263	805,864
	16 岡部西小学校	304	1,029,057	293	1,237,983	278	868,200
	17 川本北小学校	478	1,618,341	477	1,500,405	482	1,462,416
	18 川本南小学校	209	1,184,775	220	1,053,987	221	1,207,833
	19 花園小学校	690	1,474,074	705	1,537,767	709	1,840,167
小 学 校 計		8,296	29,219,324	8,190	30,010,896	8,097	31,709,058
1人当り金額			3,522		3,664		3,916
前年対比				-106	791,572	-93	1,698,162
中 学 校	1 深谷中学校	522	2,757,495	529	2,977,653	522	2,842,470
	2 南中学校	555	1,536,318	558	1,615,131	549	1,683,360
	3 藤沢中学校	252	1,449,806	250	1,497,557	260	1,569,225
	4 上柴中学校	667	1,965,159	667	1,945,692	642	1,682,037
	5 幡羅中学校	642	1,985,949	627	1,834,182	616	1,793,925
	6 明戸中学校	111	1,576,764	95	1,447,488	90	1,528,569
	7 豊里中学校	239	988,869	231	981,335	213	1,048,778
	8 岡部中学校	490	1,042,080	502	791,846	499	932,405
	9 川本中学校	356	1,186,816	359	1,206,070	355	1,197,294
	10 花園中学校	379	1,127,574	346	1,128,771	354	1,117,242
中 学 校 計		4,213	15,616,830	4,164	15,425,725	4,100	15,395,305
1人当り金額			3,707		3,705		3,755
前年対比				-49	-191,105	-64	-30,420
全 校	小 中 合 計	12,509	44,836,154	12,354	45,436,621	12,197	47,104,363
	1人当り金額		3,584		3,678		3,862
	前年対比			-155	600,467	-157	1,667,742
比 較	平成25年度・対23年度(小学校)比較					-199	2,489,734
	平成25年度・対23年度(中学校)比較					-113	-221,525
	平成25年度・対23年度(全小中学校)比較					-312	2,268,209

### 別表2 小学校大規模校(児童数500名以上)8校・水道使用料調査

	給食場併設校	H24児童数	H24水道料	1人当たり	H25生徒数	H25水道料	1人当たり
1 深谷小学校		582	1,808,111	3,107	591	1,807,043	3,058
2 深谷西小学校		637	2,104,559	3,304	599	2,369,440	3,956
3 桜ヶ丘小学校		666	2,885,148	4,332	617	3,547,782	5,750
4 藤沢小学校		608	1,763,685	2,901	633	2,034,711	3,214
5 上柴東小学校		544	1,755,747	3,227	555	1,663,893	2,998
6 上柴西小学校		699	2,277,515	3,258	674	2,330,115	3,457
7 幡羅小学校		564	3,477,936	6,167	564	3,621,090	6,420
8 常盤小学校		629	2,137,143	3,398	602	1,892,921	3,144

## 質問2 市有地への自動販売機の設置状況について

次に収入について質問しますが、市有地への自動販売機は何台設置され、いくら収入があるのか伺います。

**答弁** 公民館などの市の施設に設置されている自動販売機の総数は、233台で、その内、24台は入札により設置して、年間約970万円の収入があります。

**再質問** 233台中24台が入札で、年間約970万円の収入があるとのことですが、私の試算では、残りの209台中、福祉施設と災害対応のため設置されているものを除いても、入札にした場合、年間約3000万円の収入が得られますが、何故、入札にしないのか聞かせて下さい。

**再答弁** 入札にしていない209台のほとんどは、指定管理者が設置しているもので、その収益は各指定管理者の自主事業の財源として使われており、市民に還元されていると思いますので、現在は、この方針で行って参ります。

**提言** 自主事業が良いとか悪いとかという議論ではなくて、市が得られる収入は、しっかりと得て、必要な事業には支出するというのが、公平・公正であると思いますので、今後見直しを行っていきと提言させていただきます。

### 法律改正！

## 「都市再生特別措置法」

**質問3** 将来を見据えた都市再生について伺います。日本の総人口は確実に減り続け、35年後には1億人を割り込むという予測が、国立社会保障・人口問題研究所から発表されました。その中で、深谷市の人口は2030年には、現在の約14万6千人から1万8千人が減少し、約12万8千人となり65歳以上の老年人口割合も、現在の26%から32%に高まると言われております。そうした地方の問題を解決すべく、国では拡散した市街地で、急激な人口減少が見込まれる中、健康で快適な生活や持続可能な都市経営を確保する目的で、本年8月に「都市再生特別措置法の改正」を行いました。市では、この法律改正を、どう捉え、今後の「まちづくり」を進めていくのか伺います。

**答弁** 8月に法律が改正され、居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープランとして、市町村は「立地適正化計画」を作成できるようになりました。こうしたことから、公共施設の適正配置基本方針等、関連する計画等を踏まえながら、まちづくりに一体かつ効果的に活用できるよう研究・検討して参ります。

**質問4** 「花と緑のまちづくり」について伺います。

我深谷市は、花フェスタをはじめ、緑の王国での市民活動、更に

は、花育として行われている「ふかや学校・花はなプラン」など、全国の注目が集まる素晴らしい活動を行っております。一方、花き関連業者は、大雪の被害もそうですが、燃料費の高騰や消費者の花離れ、植木離れと言われるように、厳しい経営状況におかれているのも現実です。深谷市の花き関連出荷額は、年間約55億円と、全国でも有数であり、特に「ゆり」や「チューリップ」などの切花はトップクラスであります。そうした中、本年6月20日、第186回通常国会において「花きの振興に関する法律」が成立し公布されましたが、この法律施行を受け、市は、どのように国や県、事業者などと連携を強化していくのか聞かせて下さい。

**答弁** 法律施行を受け、既存事業の拡充を図り、当市が一大花き産地であることの認知度向上に努めるとともに、生産者の経営安定につきましても、今まで以上に消費の拡大が図られる施策を考え、花き関連団体と連携して、花き産業の発展に努めて参ります。

**再質問** この法律では、盆栽や植木なども対象としていますが、どのように取り組むのか聞かせて下さい。

**再答弁** 確かに植木なども対象となっていますので、植木関連業者の方々とも連携を強化し進めて参ります。

### 法律施行！

## 「花きの振興に関する法律」

### 花き振興に関する法律の目的

花き産業が、農地や農業の担い手の確保を図る上で重要な地位を占めているとともに、その国際競争力の強化が緊要な課題となっていること及び花きに関する伝統文化が国民の生活に深く浸透し、国民の心豊かな生活の実現に重要な役割を担っていることを鑑み、花き産業及び花きの文化の振興を図るため、基本方針の策定について定めるとともに、花きの生産者の経営安定、花きの加工及び流通の高度化、花きの輸出の促進、公共施設及びまちづくりにおける花きの活用等の措置を講じ、もって花き産業の健全な発展及び心豊かな国民生活の実現に寄与すること。

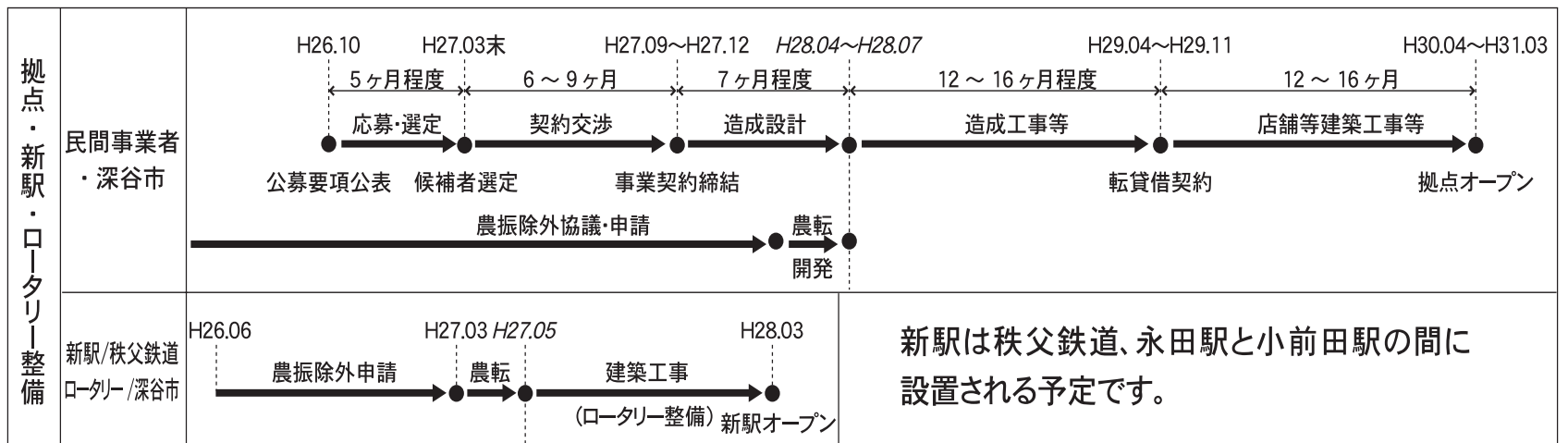
**提言** この法律施行は、深谷市にとりまして非常に追い風となるものです。平成32年に開催されます「東京オリンピック・パラリンピック」は、真夏に開催されますが、ピクトリーブーケや空港、競技会場に飾られる、花々や盆栽が、深谷から出荷できるようになれば夢が膨らみます。

### 《ここに注目パート2》“アウトレット誘致の進捗”

花園インターチェンジ拠点整備プロジェクトとして進められています事業ですが、概略スケジュールでは、平成30年度のオープンに向けて進められております。(別表3)

### 別表3

## 花園IC拠点整備プロジェクト／民間ゾーン及び公共ゾーン／秩父鉄道新駅整備・概略スケジュール



# 清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8  
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: [info@shimizu-kenichi.jp](mailto:info@shimizu-kenichi.jp)



### プロフィール

昭和36年1月27日生まれ (53才)

家族構成 父、妻、長男、長男妻、長女、次女、孫 (8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ◎ ふかや市商工会 理事
- 深谷市議会 副議長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。